

回答書
「京都市国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金システム再構築業務」の質問に対する回答

No.	書類(入札説明書・仕様書等)	項・題目名・番号等	質問事項	回答
1	仕様書	第12.4.(7)	研修実施に必要な会場、設備、端末などの手配は本調達の対象外の記載がある一方、ア 研修計画に研修終了後から本稼働までの期間に各拠点で学習できるよう研修端末・環境構築の記載がありますが、端末の準備及び環境構築は今回の調達の範囲外の認識でよいでしょうか。	お見込みのとおりです。ただし、研修実施に必要な環境構築のうち、新システム側での設定等については本契約の範囲内です
2	企画提案書作成要領	4 電子媒体作成上の留意事項	電子データには正本副本両方の電子データを格納することによりよいでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	機能要件一覧	国保 機能要件 (共通) 項番265	「財務会計システムに、国保給付不当利得返還金情報を連携できること」 本要件に関する仕様(処理周期、連携インタフェース項目)を提示いただけないでしょうか。	以下、処理周期とデータ項目についてのみ現時点の参考情報として記載いたします。 ・処理周期:月次 ・項目名:1.連番2.年度3.調定日4.納期5.市区区分6.所属7.会計8.款9.項10.目11.節12.細節13.調定額14.摘要15.相手方番号16.相手方住所17.相手方名称18.郵便番号19.整理番号20.口座番号21.納付書番号22.備考22.期または月23.ただし なお、財務会計システムの設計情報に当たるため、上記以外の詳細情報は契約締結後に受託者に対してご提供いたします。 また、上記の項目には、個々の返還情報から生成すべきデータ(例:調定額、相手方名称など)と、会計処理上、定型的に設定されるデータ(例:所属、会計など)が混在しているため、新システムからの情報をEUC出力し、どの情報を連携処理の過程で付加(手作業含む)するか、といった具体的な実現方式については、受注事業者のシステムの特性や機能を踏まえ、契約後に最適な方法を決定する想定です。
4	機能要件一覧	国保 機能要件 (共通) 項番264	「財務会計システムに、収入・支出に係る各種情報を連携できること。EUC機能により出力した連携用データによる媒体連携を想定している。」 本要件に関する仕様(処理周期、連携インタフェース項目)を提示いただけないでしょうか。	以下、処理周期とデータ項目についてのみ現時点の参考情報として記載いたします。 ・処理周期:日次 ・項目名:1.執行年2.執行月3.執行日4.カード種別5.市区別6.収入支出方法7.スペース18.OCRサイン9.年度10.会計11.命令№12.款13.項14.目15.節16.付記17.サイン18.金額19.所属コード20.期21.月22.収納月23.収納日24.氏名カナ25.スペース26.支払種別27.スペース3 なお、財務会計システムの設計情報に当たるため、上記以外の詳細情報は契約締結後に受託者に対してご提供いたします。 また、上記の項目には、日々の業務処理から生成されるデータ(例:金額、氏名カナなど)と、会計処理上、定型的に設定されるデータ(例:所属コード、会計など)が混在しているため、新システムからの情報をEUC出力し、どの情報を連携処理の過程で付加(手作業含む)するか、といった具体的な実現方式については、受注事業者のシステムの特性や機能を踏まえ、契約後に最適な方法を決定する想定です。
5	機能要件一覧	後期 機能要件 (共通) 項番137	「財務会計システムに、収入・支出に係る各種情報を連携できること。EUC機能により出力した連携用データによる媒体連携を想定している。」 本要件に関する仕様(処理周期、連携インタフェース項目)を提示いただけないでしょうか。	以下、処理周期とデータ項目についてのみ現時点の参考情報として記載いたします。 ・処理周期:日次 ・項目名:1.執行年2.執行月3.執行日4.カード種別5.市区別6.収入支出方法7.スペース18.OCRサイン9.年度10.会計11.命令№12.款13.項14.目15.節16.付記17.サイン18.金額19.所属コード20.期21.月22.収納月23.収納日24.氏名カナ25.スペース26.支払種別27.スペース3 なお、財務会計システムの設計情報に当たるため、上記以外の詳細情報は契約締結後に受託者に対してご提供いたします。 また、上記の項目には、日々の業務処理から生成されるデータ(例:金額、氏名カナなど)と、会計処理上、定型的に設定されるデータ(例:所属コード、会計など)が混在しているため、新システムからの情報をEUC出力し、どの情報を連携処理の過程で付加(手作業含む)するか、といった具体的な実現方式については、受注事業者のシステムの特性や機能を踏まえ、契約後に最適な方法を決定する想定です。
6	400451_03_仕様書	第11 非機能要件 表11-1 非機能要件(その他委託業務等) 項番2 (2) 認証	「システムのサーバは独自のドメインを利用すること。」と記載があります。 これは、京都市側で既に構築しているドメイン環境に参加するという認識でよいでしょうか。	お見込みのとおりです。
7	400451_03_仕様書	第11 非機能要件 表11-1 非機能要件(その他委託業務等) 項番11 ステージング(検証)	「ステージング環境(検証)は、原則前日の業務終了時点の本番環境と同じ状態であること。」と記載がある一方で、同資料の「4 システム環境構築 (1)環境構築 表12-3 環境の種類と作業想定」において、検証環境のデータは「テストデータ」と記載されています。 構築フェーズの段階から、本番環境相当のデータが格納される認識でよいでしょうか。 また、「必要に応じて個人情報のマスクング可能であること」というのは、制度個人番号のみが対象ということで相違ないでしょうか。	ステージング環境のデータは、利用フェーズによって想定が異なります。仕様書に記載の「テストデータ」はシステム構築フェーズでの利用を想定しており、「前日の本番環境と同じ状態」とは稼働後の通常運用を指します。したがって、構築当初から本番データが格納されるわけではございませんが、構築後半の受入テスト等では本番に準じたデータでの検証を想定しております。また、制度個人番号をいゆる番号法上の個人番号として回答しますが、マスクング対象とする個人情報の対象はこれに限定されません。具体的なマスクング範囲やルールは、受注事業者選定後に別途協議させていただきます。
8	仕様書	運用保守業務委託仕様書(案) 第5 サービスレベル合意(SLA)	以下の記載がありますが、他の記載箇所と異なる認識です。 〈第5 サービスレベル合意(SLA)〉 サービス時間:6:00~24:00 応答時間:同時接続台数500台の状態で~ 〈業務の概要 3 システム利用時間 4 システム利用者〉 システム利用時間:平日7:45~20:00 利用者数:550名	「第1業務の概要」中、「システム利用時間」は職員が主にシステムを使うコアタイムであり、「端末台数」はシステムを使う可能性のある端末の総数です。「第5サービスレベル合意(SLA)」中「サービス時間」は、夜間バッチ処理等を含めた、システムが稼働を保證すべき時間を示しており、「同時接続台数」は、その中で最も混み合う瞬間のアクセス数を想定した性能目標です。